

1

新型コロナウイルスによるトラック業界への影響調査

令和3年1月

(一社) 兵庫県トラック協会

1. 調査の目的

新型コロナウイルスによる中小規模トラック事業者への影響を把握し、今後の協会事業に資するための基礎資料として活用する

2. 調査対象及び方法

全ト協が昨年10月に行った「新型コロナウイルス感染症等の影響と今後の事業継続等に関するアンケート調査」の回答を分析

3. 回答者数

35社（兵庫県下の保有車両数20両以下の事業者）

4. 結果

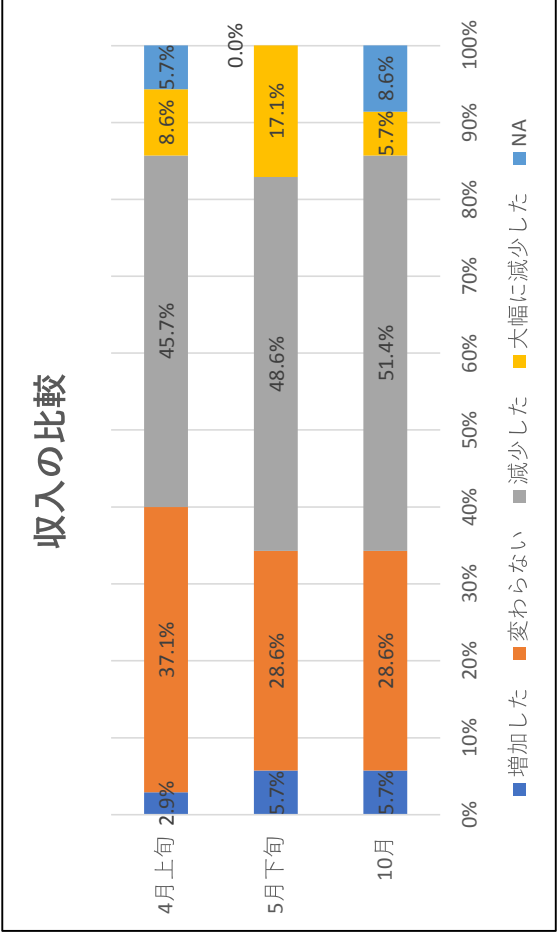
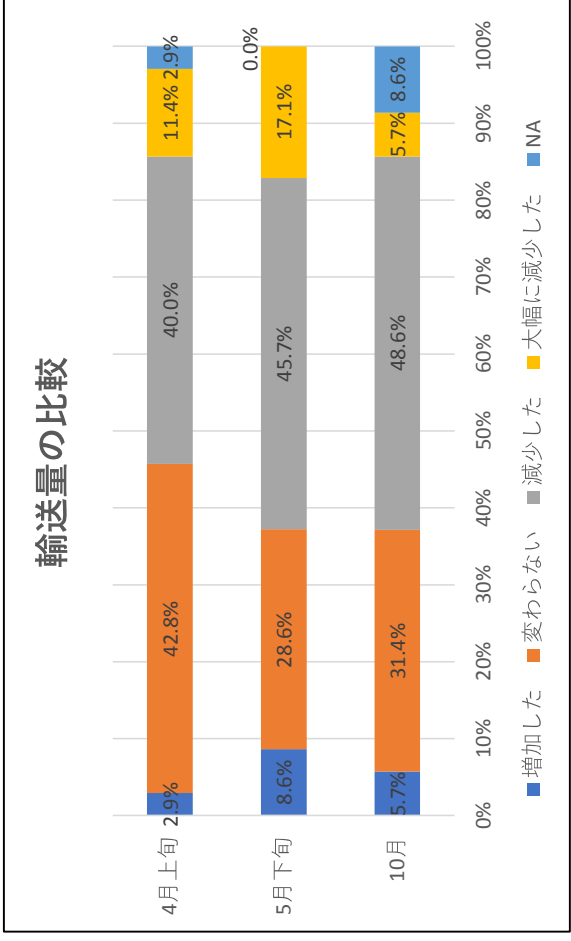
4.1 主な輸送品目（回答のあったものの上位7品目）

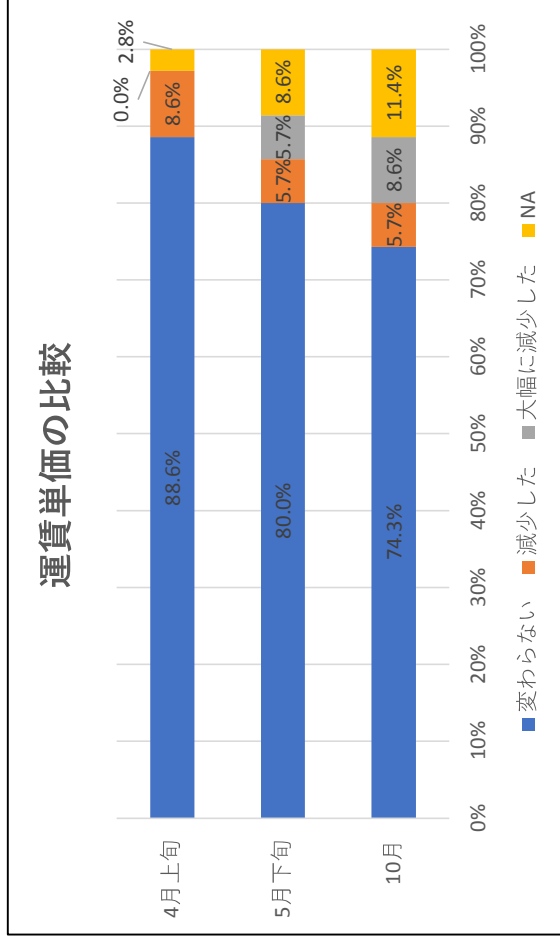
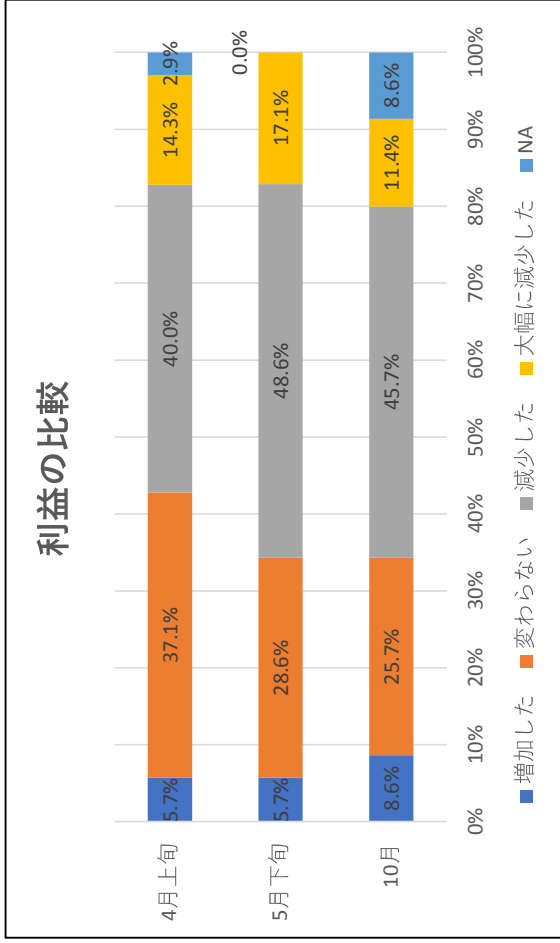
建築・建設用金属製品、加工食品、その他の化学製品
金属素材、鋳産品、書籍・印刷物、宅配・特積み貨物

4.2 新型コロナウイルス感染症の影響で特に増減した輸送品目

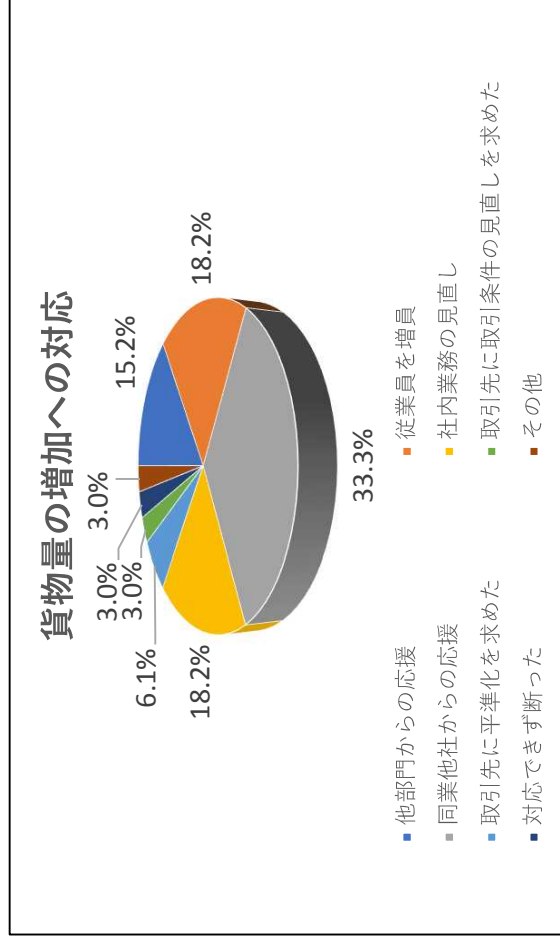
増加 加工食品
減少 金属素材、建築・建設用金属製品、書籍・印刷物

4.3 新型コロナウイルスの影響による「前年同期」に比べた物流活動の変化や影響

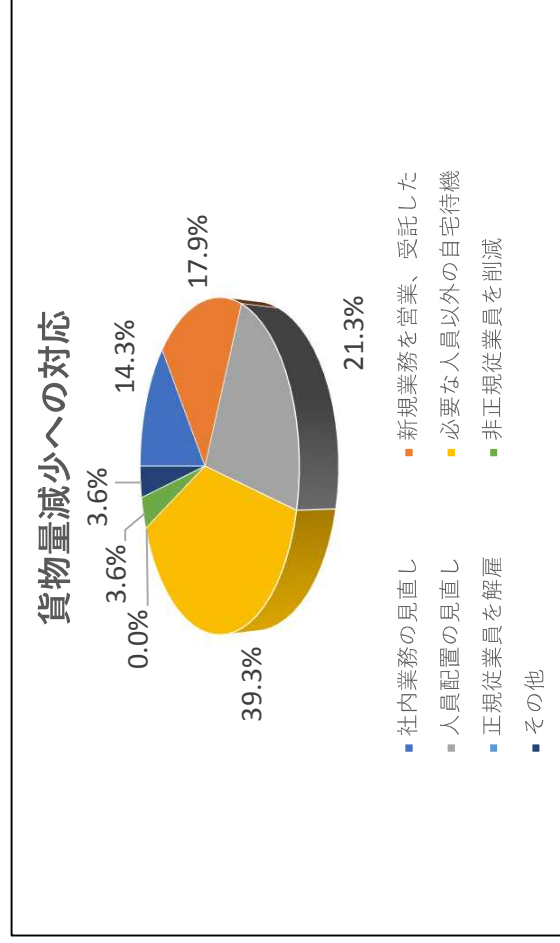




4.4 物流という社会機能の維持が求められる中で、輸送量の増加・減少に対する対応

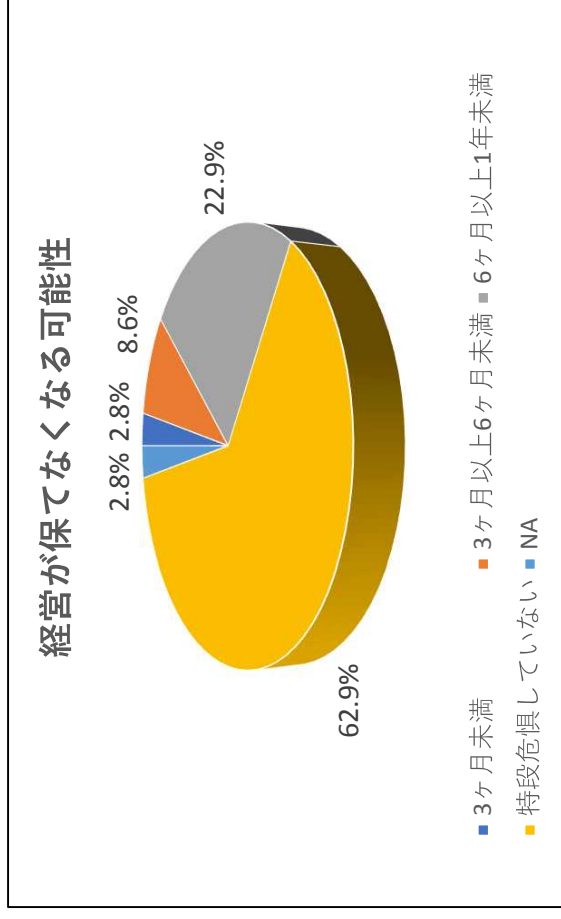
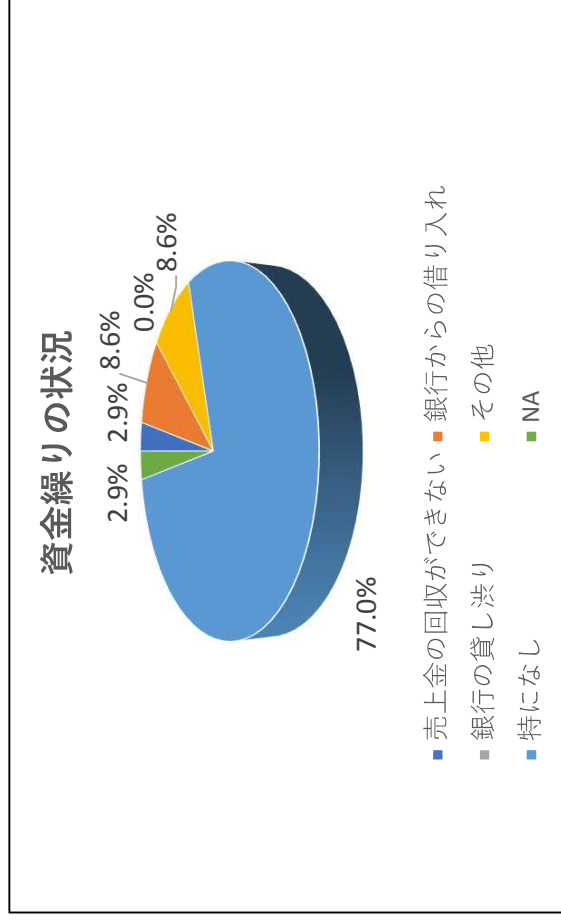


- ・出勤時間の見直し、労働時間削減
- ・時間指定の先延ばしで効率的な配送
- ・車両（大型・中型）の乗務シフトの変更
- ・運行経路の見直し
- ・高速道路の有効活用

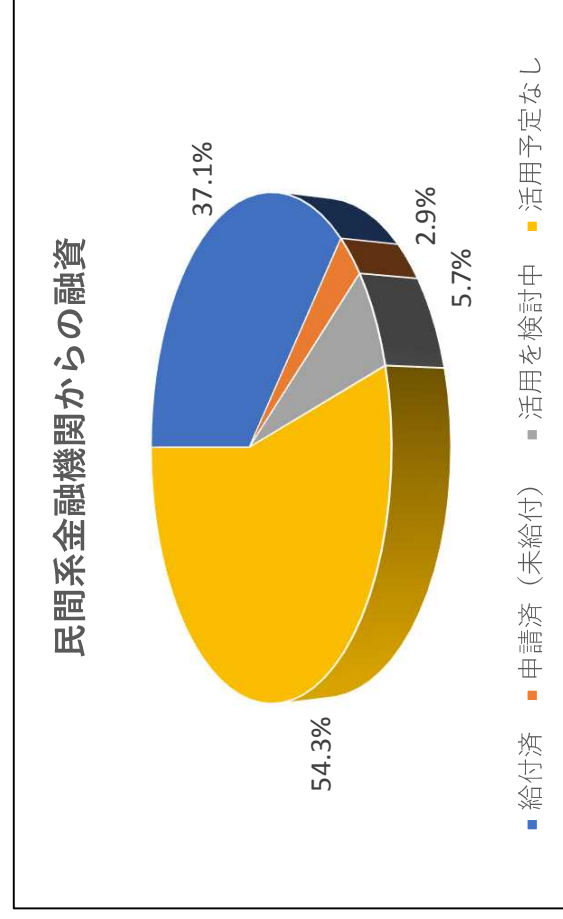
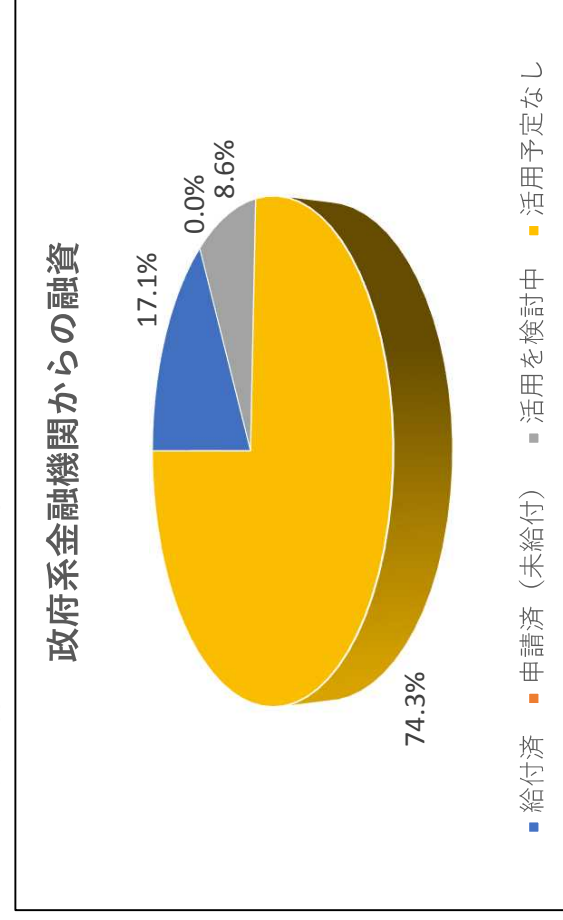


- ・配送コースの変更による労働時間の平準化
- ・時差出勤、休暇取得
- ・退職者の補充をしなかった

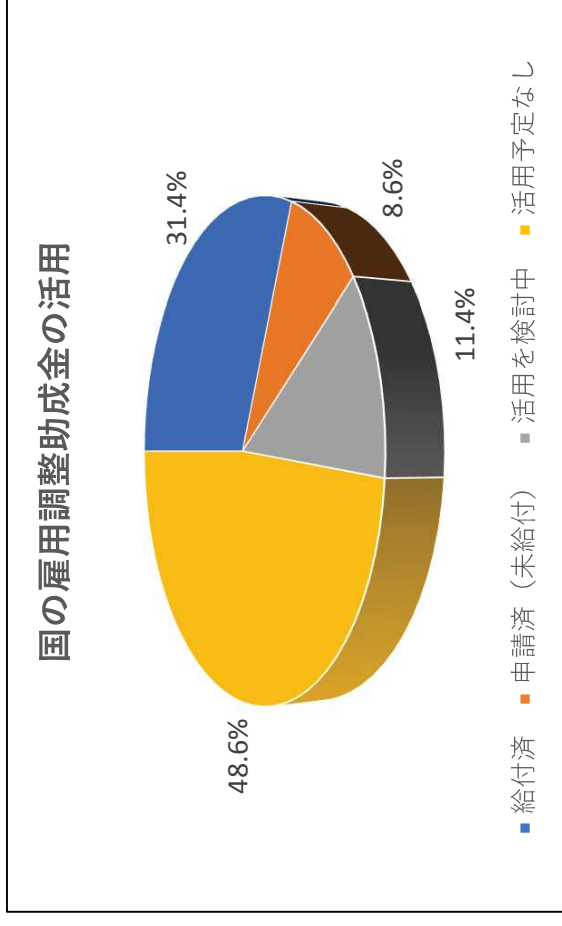
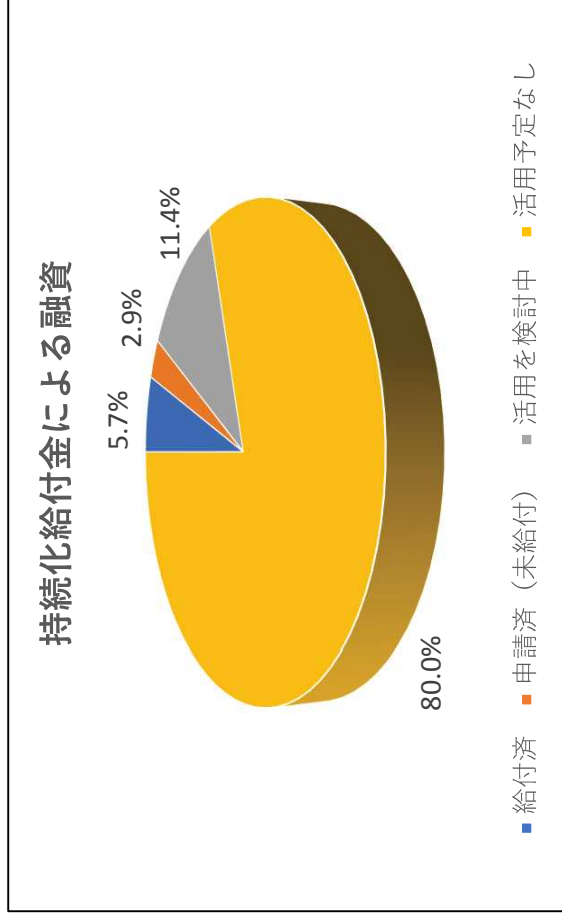
4.5 資金繰りの状況



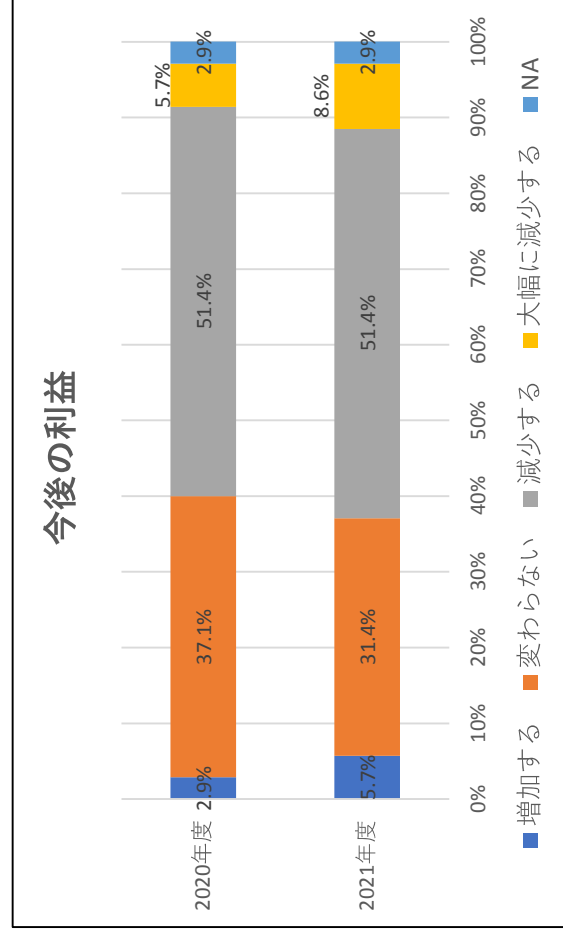
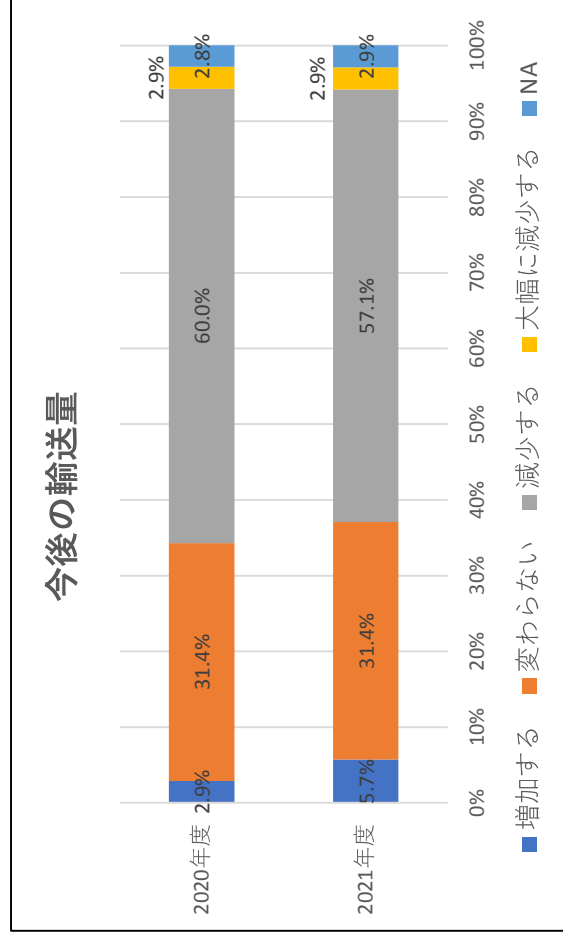
4.6 資金繰り支援の活用状況



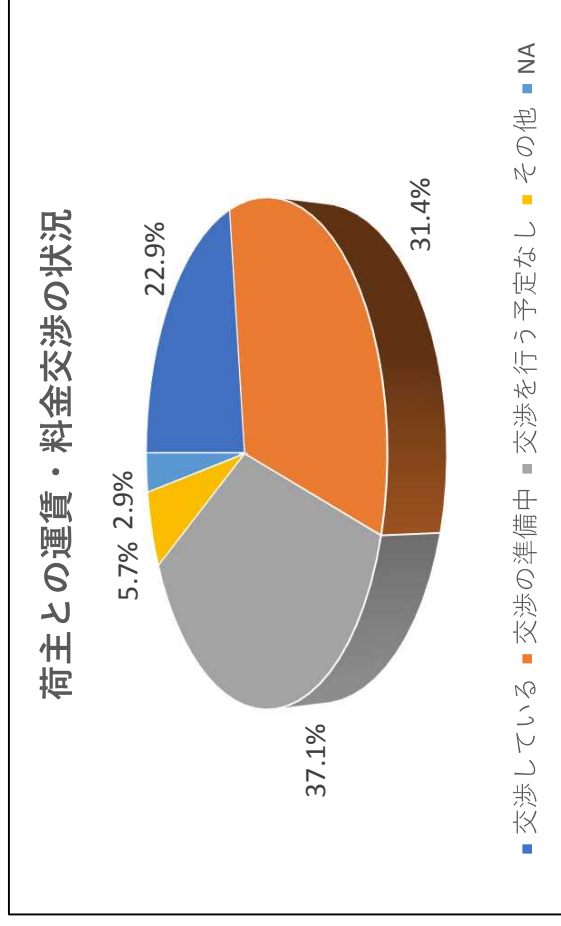
4.7 持続化給付金・雇用調整助成金の活用状況



4.8 新型コロナウイルス感染症の今後の物流への影響について、2019年度との比較



4.9 最近の荷主との運賃・料金交渉の状況

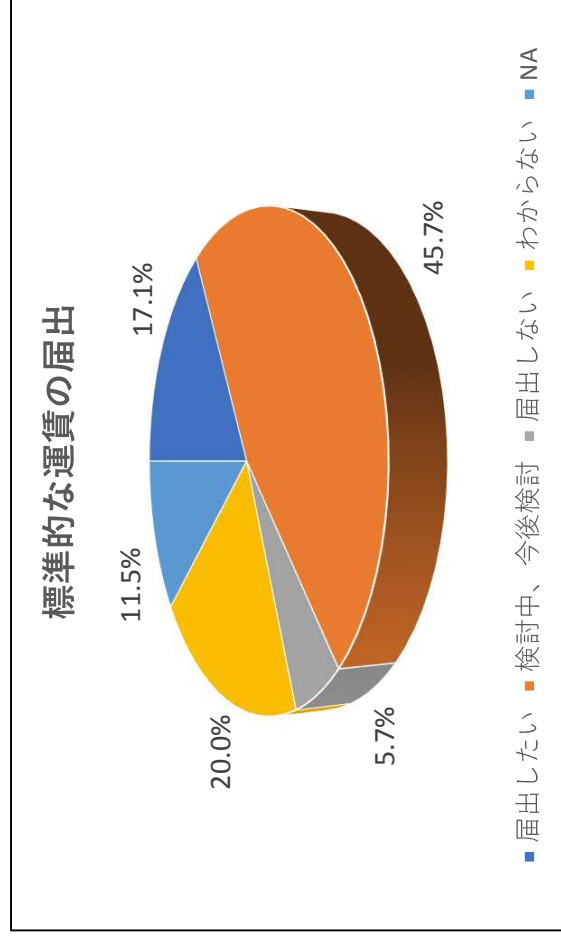
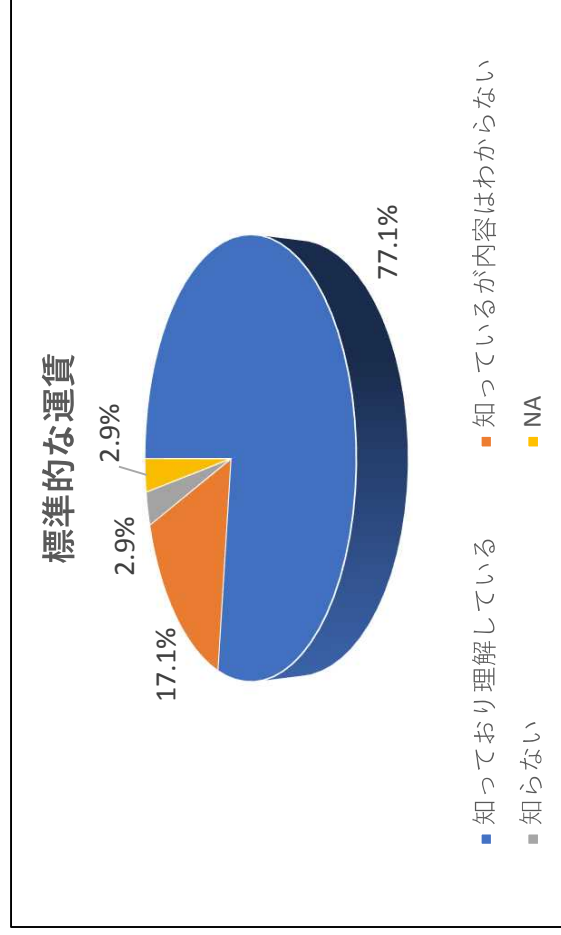


値上げに応じた荷主は全体の何%ですか？

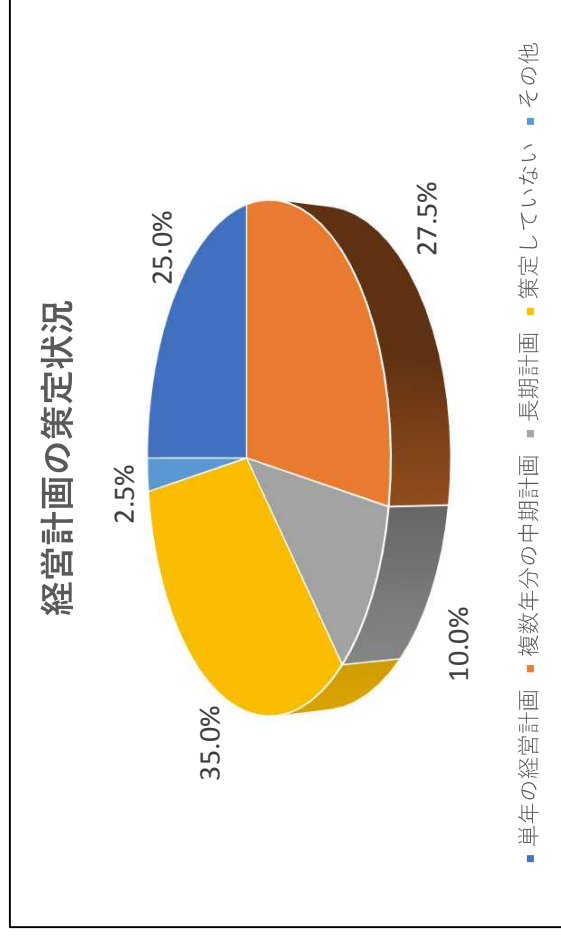
(交渉している8社のうち7社より回答)

- ・ 20% …… 1社
- ・ 10% …… 1社
- ・ 7% …… 1社
- ・ 5% …… 1社
- ・ 0% …… 3社

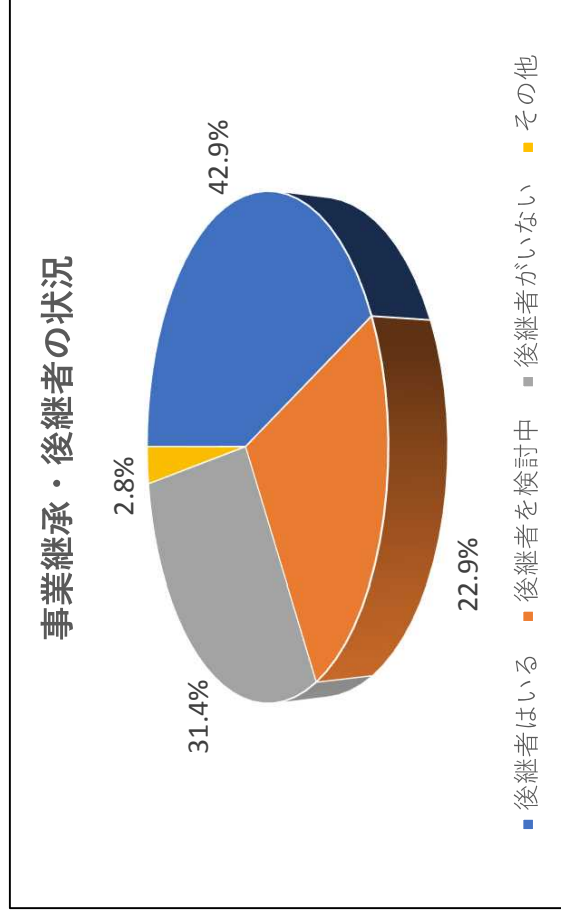
4.10 標準的な運賃の認識状況及び届出



4.11 自社の経営計画の策定状況



4.12 事業後継者の状況



4.13 「コロナ時、災害時のトラック運送業の経営」において、協会に望むこと

- ・高速道路料金の割引、ETC利用料金割引の拡充
- ・助成金、補助金の拡大、新設（今でも随分頑張っていました）
- ・業界内の意見や適切な指導活動により注力していただきたい

- ・国からの観光事業や飲食業への支援のようなものを
- ・高速道路SAの大型車駐車場の拡張並びにSA増設

4.14 今後の「コロナ時・災害時のトラック運送業の経営」において、荷主に対してどのような対応が必要ですか？

- ・荷主企業における取引条件の見直し・・・ 運賃のup、運賃の最低保障、1日保障運賃、手形取引の廃止
- ・サプライチェーン全体での商習慣の見直し・・・ 納入時間指定の減少を希望する、待機時間の削減、車上渡し of 徹底
- ・非接触型、省人化、自動化など物流システムの見直し・・・ IT点呼、出退勤は顔認証で、パレット輸送への切り替え
- ・運賃・料金水準の見直し・・・ 運賃の値上げ交渉、適正な運賃・料金の収受